

特集

平成31年度施政方針

希望と活気にあふれたまちづくり
町の未来を創る、大胆な投資

3月4日(月)、平成31年豊山町議会第1回定例会において、服部正樹町長が平成31年度の施政方針演説を行いました。今月号の特集では、その全文をお知らせします。

はじめに

平成31年第一回豊山町議会定例会の開会にあたり、関係諸議案の審議に先立ちまして、新年度、町政に臨む私の所信と主要な施策の方針につきまして申し上げます、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っております。

平成28年11月20日の町長就任から2年3か月余りが経過し、任期の半分を折り返すこととなります。この間私が公約に掲げました「町民の皆さん誰もが住みやすい、住み続けられる町」を実現するため、小中学校へのエアコンの設置、ICT教育の推進、介護支援ボランティアポイント制度新設や、とよやまタウンバスの

ルート見直しなど、教育や福祉、生活環境の充実に取り組んでまいりました。

引き続き、町民の皆様がこの町に住み続けたいと思っただけのよう防災や防犯、子育て支援や教育分野での施策のさらなる充実を図ってまいります。

本議会に上程いたしました平成31年度的一般会計予算案は72億円超の予算規模となっており、本町では初めて70億円を超える予算案となりました。町の未来を創る、将来を見据えた事業への大胆な投資を行い、活力あるまちづくりを進めてまいります。

平成31年度当初予算案の概要と施策の特徴について

それでは、平成31年度当初予算案の概要と施策の特徴について、申し上げます。

まちの将来像である「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」の実現に向け取り組んできました第4次総合計画、都市計画マスタープランの計画期間は、残り1年余りとなります。

計画の総仕上げに向けた取組を進めるとともに、まちの将来を見据えた、次期計画につなげるための新たな事業展開も視野に入れた予算の編成としております。

一般会計の総額は、72億6500万円です、対前年度比7億7900万円、12.0%の増となっております。これは、当初予

算としては7年連続で前年度を上回るものであります。また、国民健康保険をはじめとした特別会計の総額は、32億6055万4千円で、対前年度比4886万2千円、1.5%の減となっております。

一般会計の歳入の根幹をなす町税は、全体としては対前年度比92268万3千円、2.1%の増となっております。

個人町民税につきましては、給与所得や納税義務者の増加により対前年度比167万5千円の増、法人町民税につきましては企業収益の改善により対前年度比289万1千円の増を見込んでおります。

固定資産税につきましては、全体で対前年度比7389万5千円の増を見込んで